

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

1 目指す姿と数値目標

経営理念

高い倫理観を保ち、質実剛健と先憂後楽の社風を確立し、取引先・従業員・株主への企業責任を全うし社会に貢献

液卵販売数量
8万トン

液卵業界シェア
20%

連結売上高経常利益率
8%以上

2 中長期の経営戦略

1. 営業施策

液卵・凍結卵の高品質製品を適正価格で安定供給。営業と研究開発連携でお客様ごとの製品開発。鶏卵相場高騰時の輸入卵提案。新規取引先開拓と販売数量増加を推進

3. 製造施策

品質第一で食品安全マネジメントシステム導入。液卵8万トン達成向け最新設備新設・増設・既存設備更新。2S推進による作業環境改善と効率化

2. 購買施策

仕入先拡大、需給調整、原料定期仕入比率向上、委託生産・輸入検討等で仕入システム多様化。お客様への安定供給責任を達成

4. 研究開発

営業連携で顧客ニーズ対応の品質改良・製品開発。研究機関・大学・他社との連携で卵殻・卵殻膜の新規用途開発や鶏卵の新たな価値創造を強化

3 対処すべき課題

① 市場環境の悪化

- ・原材料価格高騰・円安による食品値上げで消費者の生活防衛意識が強まる
- ・国内人口減少に伴う国内需要の減少が予想される
- ・鶏卵相場の大幅な変動と市況不確実性が増加

② 鶏卵業界の構造変化

- ・飼料価格高騰による生産コスト増で鶏卵生産意欲が低下
- ・大規模な鳥インフルエンザ発生で需給バランスが大幅変動
- ・養鶏業界の寡占化が進行

③ 業務運営の課題

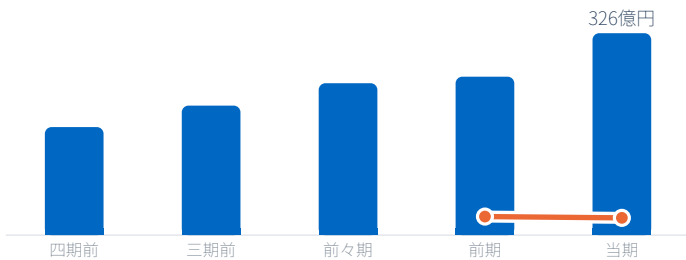
- ・少子高齢化・人口減少に伴う労働力不足が社会問題化
- ・調味料事業での得意先商品ライフサイクルが短いため購買・在庫管理が必須
- ・オーガニック商品の安定確保が困難

面接で使えるポイント

- ・液卵・凍結卵を『食の半導体』と位置付け、2030年度8万トン・業界シェア20%を目指す事業展開
- ・規格外卵を活用したサステナブルサプライで、食品業界の省力化と消費者の食生活充実に貢献
- ・営業・研究開発・製造の連携で顧客ニーズ対応と品質第一を実現する経営体制

証券コード 2924

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
326億円営業利益率
8.6%財務健康度
73点 / 100点

将来性 晴れ時々曇り / 就活偏差値 47.4（当サイト算出の参考指標）

平均年収
575万円

食料品内 81位/120社

平均年齢
38.5歳

食料品内 110位/121社

平均勤続
12.3年

食料品内 91位/121社

女性管理職
8.7%

食料品内 69位/106社

男性育休
100.0%

食料品内 38位/92社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: イフジ産業(株)【2924】：決算情報

